

夢・希望のある新しいまち、養父市発足

養父市長職務執行者あいさつ



養父市長職務執行者 梅谷 馨



各地域局でも開庁式が行われました

養父市市長職務執行者の梅谷でございます。市を開くにあたりまして、みなさんに一言ごあいさつを申し上げます。今回、行財政基盤を強化すること、地方分権への対応、そして少子高齢化への取り組み等の課題を抱えながら、養父郡四町が一体となり養父市として発足することになりました。みなさん方の格別なるご協力を、心からお願い申し上げます。養父郡四町は、みなさんもご承知のように、古

来より歴史・文化・経済すべてにわたり、一体的な取り組みをしてきました。さらに、最近におきましては、広域的な事業を数多く実施しておりますが、中でもケーブルテレビが完成したこと、それから琴弾峠がトンネル化になったことで、さらに養父郡四町の一体化が図られているところ

です。今回、そういうことをみなさんと共に考え、四町が合併して養父市になりました。現在、平成の大合併が進められている中、近畿においては初



辞令交付を受ける市職員

めて発足する市となり、兵庫県下におきましても、二十三番目の市となります。これもひとえに、みなさま方のご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

養父市のテーマといたしております。「響きあう心 拓く明日 但馬中央の郷」が示しているように、三万人の市民がお互いに心を合わせながら、すばらしい市を築き上げていかなければなりません。

5月に市長選挙もございませう。市長のもとで一致結束していただき、そこに住む人々が市をつくりあげる事を心からお願い申し上げます。私のあいさつと致します。



養父福祉事務所から業務事務を引継ぎ